

新富都建発第 491 号
平成20年10月15日

国土交通省道路局長 殿

宮崎県児湯郡新富町大字上富田 7491
新富町長 土屋 良文



「今後の道路行政についての意見・提案」の提出について（回答）

このことについて、別紙のとおり提出いたしますので、よろしくお願いいたします。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

宮崎県新富町

○現状

①地方部では、古くに架けられた幅員の狭い橋梁が多い。これらの橋梁は、現代の交通量に対応できず慢性的渋滞を起こし、交通の円滑な流れを阻害し、地域の発展の大きな妨げとなっている。

②車の保有台数の多い地方部に高速ネットワークが繋がっていない。

○課題

①地方の自治体の、行政区域を越えた生活圏の実態に目を向け、地方の文化、経済の発展の妨げとなっている狭隘な橋梁の架け替えを早急に実施すべきである。

②道路特定財源の多くを負担してきたのは地方であるという視点から、最も高速道路を必要としている地方のために、国は早急に高速道路ネットワークの整備を図るべきである。

②-1 地域の現状と抱える問題

宮崎県新富町

○現状

①国道10号は、新富町にとって最も利用度の高い主要道路であるが、本町と宮崎市とを繋ぐ日向大橋は幅員が狭く、慢性的交通渋滞の原因となっている。

②新富町でも東九州自動車道の整備が進められている。

○課題

①国道10号の日向大橋は、新富町が通勤・通学・買い物・医療の日常生活圏として依存している宮崎市と本町とを繋ぐ架け橋であるため、町の今後の発展には、渋滞がなくスムーズにスピード感を持って往き来できる橋を早期に完成することが大変重要である。

②東九州自動車道の早期整備は、本県はもとより、野菜・畜産・洋蘭のまち新富町にとっても、今後の産地間競争の激化に対応し得る競争力を確保する上で不可欠であるので、一刻も早い高速道路ネットワークの完成が必要である。

②-2 地域の目指すべき将来像

宮崎県新富町

①国道10号の4車線化および国道10号に架かる日向大橋の4車線化により交通渋滞が解消し、新富町の経済・文化・教育・医療の生活圏として依存する宮崎市への行き来にスピード感が出ることで、今後、町内への企業立地や沿道の土地利用の増進、ひいては定住人口増に大きく寄与するものと思われる。

②東九州自動車道の早期完成により新富町内に企業立地が進み、新富町の工業製品や新富町の野菜・畜産・洋蘭等の特産物の流通がスピード化され産地間競争力が確保されるなど、新しい展望が開けるものと思われる。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

宮崎県新富町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 地域活力の向上	①国道１０号日向大橋の架橋（４車線化） ②東九州自動車道の早期完成	①新富町への企業立地、沿道の土地利用の増進、定住人口の増などの効果が期待できる。 ②高速道路ネットワークの構築により新富町への企業立地や、野菜、畜産物、洋蘭など新富町の特産物の産地間競争力が確保されるなど期待される。	